

# 教育ひょうご

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8  
兵庫県教職員組合  
発行人 兵庫県教職員組合 代表者 川原芳和  
編集人 小西宏典  
電話 050(3538)2346  
1部15円 年定価360円  
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

2019/5・15

No. 1975

2面

・教文部長会 西嶋副委員長 あいさつ  
・第1回教研推進委員会  
・兵庫県民大学第42期教育講座

## 第1回教文部長会 教研推進委員会

## 格差をなくし、平和を守ろう！ 笑顔あふれる未来をつくらう！

4月27日、神戸大倉山公園野球場で、第90回兵庫県メーデー神戸中央大会が開かれ、会場には、約8,000人が集結した。(兵教組は、2,377人が参加)メインスローガンは「格差をなくし、平和を守る！笑顔あふれる未来をつくらう！すべての仲間の連帯で！」

メーデーは、1886年に米国の労働者が1日8時間労働を求めてゼネストに立ち上がったことを起源としている。日本のメーデーは、1920年5月2日に第1回が開催された。その後、戦争などで禁止に追い込まれたが、第二次世界大戦後、働く者の団結と連帯によってメーデーは復活し、労働者の地位や労働条件の向上、民主主義の発展などをめざし継続され、90回目のメーデーを迎えることができた。

冒頭、連合兵庫の辻芳治会長は、昨年、各地で発生した地震・豪雨・台風などの自然災害により犠牲となつた方々やこの1年間に逝去された諸先輩・働く仲間の御霊に対し、「黙祷」を捧げた。「労働者の祭典であるメーデーが90回目を迎えた中、ナショナルセンタールである連合が結成30年を迎えることの意義は大きい」と述べた。また、「改めてメーデーの原点や意義を振り返り、すべての仲間が団結・連帯することの重要性を確認しよう」と呼びかけた。

さらに、4月から、改正労働基準法をはじめとする、働き方改革関連法が施行され、「誰もが健やかに安心して働き続けられるよう、36協定の遵守など真に働く者のための働き方改革を確実に遂行していかねばならない。これまでの



『底上げ・底支え』『格差是正』の流れを継続するとともに、社会的セーフティネットの拡大・強化により、子ども・子育て支援、医療、介護、など、政策・制度の実現を通じて将来不安の解消にも取り組もう」と訴えた。

最後に、「すべての仲間の団結と連帯の力があればどんな状況も乗り越えられる。働く者がこそ主役である。未来を切り開くのは自分自身ということに自覚し、その信念を確認しよう」と挨拶された。

## 第90回 兵庫県メーデー神戸中央大会



『底上げ・底支え』『格差是正』の流れを継続するとともに、社会的セーフティネットの拡大・強化により、子ども・子育て支援、医療、介護、など、政策・制度の実現を通じて将来不安の解消にも取り組もう」と訴えた。

次に、4月の統一地方選挙の結果と7月の参議院議員選挙にもふれ、連合兵庫の支持・推薦候補者の勝利に、感謝の意を表した。

「今回の統一地方選挙の結果をしっかりと受け止め、分析し、次なる闘いにつなげていかなければならぬ。7月の参議院議員選挙では、働く仲間の議席奪還をめざし、組織の総力を結

集させよう」と熱く語った。

最後に、「すべての仲間の団結と連帯の力があればどんな状況も乗り越えられる。働く者がこそ主役である。未来を切り開くのは自分自身ということに自覚し、その信念を確認しよう」と挨拶された。

## 子ども・保護者・地域・教職員のための 教育改革運動の推進にむけて

### 教文部長会

4月23日、ラッセホールで第1回兵教組教文部長会・教研推進委員会がおこなわれた。

冒頭、西嶋副委員長は、子どもを中心にすえた創造的な教育研究活動を通して、生きる力につながる「ゆたかな学び」を実現する実践をさらにすすめていくと述べた。(詳細は2面の副委員長あいさつに抜粋掲載)

教文部長会では、経過と情勢、協議事項に続いて、当面する教育改革運動の推進について提起し、可決された。

当面する教育改革運動の推進について、

- ①憲法・子どもの権利条約を生かした教育制度改革にむけてとらむ。
- ②「19全国学力・学習状況調査」(4月18日実施)に対しては、調査結果の活用・公表如何によつては「序列化・過度の競争」が懸念されるため、本部・地域組合・分会が連携して、県教委、各地教委・学校長に対して、地域・学校の序列化、過度の競争につながるような調査結果の公表をおこなわないこと等をもとめる。
- ③「ゆたかな学び」を実現する学習指導要領への対応については、子どもを中心にすえた創造的な教育課程編成となるようとりくむ。
- ④第69次教育研究活動は、第145回定期大会(第5号議案)の決定にもとづき、子どもを中心にすえた創造的な教育研究活動を発展させるよう職場の教育研究体制の確立を基盤に、全組合員が参加し、全地域組合・分会で推進する。
- ⑤本部研究所は、研究体制・研究内容のさらなる充実をはかり、教育総研や地域組合教育研究委員会・研究所と連携して、教育改革の実現をめざした教育研究活動をすすめる。
- ⑥子どもの最善の利益を追究し、人権尊重、ともに生き、ともに学ぶ教育を推進する。
- ⑦「学びたいことが学べる」高校教育改革と受験競争緩和をめざしてとりくむ。
- ⑧「ゆたかな教育の創造をめざす兵庫県民会議」については、「5月に運営委員会を、7月を目途に」第30回総会を開催し、活動内容、活動時期、役員体制、予算、施設訪問等について協議する。
- ⑨兵庫県民大学については、講師情報等のネットワークを活用し、全地域組合で内容の充実をはかる。(2面参照)
- ⑩ひょうご芸術文化センターのとりくみをすすめる
- ⑪「ひょうご2019」子どもの詩と絵 第40集を充実させるため、全地域組合・分会へのはたらきかけを強める。(2面に続く)



### 70th Anniversary

## Lasse Hall

人集い、街華やぐ交流拠点  
2019 Summer

永年のご愛顧に感謝を込めて  
兵庫教育会館 ラッセホール  
70周年記念フェア

# サマーバンケットプラン

2019年6/1(土) ▶▶ 2019年9/30(月)

夏の納涼会、同窓会、各種ご宴会など、様々なシーンに  
2時間制 20名様~

写真撮影一次付

### お料理+フリードリンク

buffet形式にすると、料理が一品(おまかせ)追加でさらにお得に! (祝日・祝日・お盆期間(11日~15日)の期間にフリードリンク1アイテム追加、または一文字看板サービス)

Aコース	Bコース	Cコース
お一人様 5,000円	お一人様 6,000円	お一人様 8,000円

和・洋料理

- ◆ 自身魚と野菜のマリネ
- ◆ イタリア産モッツアレラ
- ◆ 兵庫県産トマトのサラダ
- ◆ サモンの薄造り 淡路玉葱添え
- ◆ 枝豆連根寄せ
- ◆ フィッシュ&チップス
- ◆ シュリンプピザ
- ◆ タイ風チキングリル
- ◆ 兵庫県産産物の冷やしおろしそば
- ◆ 季節のフルーツ
- ◆ コーヒー

和・洋・中料理

- ◆ ノルウェー産サーモンと兵庫県産野菜のマリネ
- ◆ 小海老とグレープフルーツのサラダ
- ◆ お造り二種盛合せ
- ◆ 兵庫県産揚子 中華甘酢あんかけ
- ◆ スズキのボフレ 地場トマトソース
- ◆ チキン ティアブル
- ◆ 三田こしひかり 握り寿司彩々
- ◆ 兵庫県産産物の冷やしおろしそば
- ◆ デザート盛合せ
- ◆ コーヒー

和・洋・中料理

- ◆ オードブル三種盛合せ
- ◆ シーザーサラダ
- ◆ シーフードマリネ
- ◆ お造り三種盛合せ
- ◆ ローズマリー香る チキンソテー
- ◆ 自家製ローストビーフ
- ◆ <美前> ◆ 骨付カルビのステーキ
- ◆ 三田こしひかり 握り寿司彩々
- ◆ 兵庫県産産物の冷やしおろしそば
- ◆ 季節のフルーツ&デザート盛合せ
- ◆ コーヒー

フリードリンク

- ◆ 瓶ビール ◆ ウイスキー ◆ ハイボール ◆ 芋/麦焼酎 ◆ 赤白ワイン ◆ 日本酒又はカクテル ◆ ウーロン茶 ◆ オレンジジュース

ご予約・お問い合わせはこちら 078-291-1110  
お問い合わせ時間 平日・土 9:00~19:00 日・祝 9:00~18:00

ラッセホール  
〒650-0004 兵庫県神戸市中央区中山手通4丁目10-8  
TEL.078-291-1117 (代表)  
FAX.078-291-0333  
https://www.lassehall.com  
E-mail info@lassehall.com

# 第69次兵庫県教育研究集会 (ひょうご教育フェスティバル) にむけて

## 兵教組第1回教研推進委員会



兵庫教育文化研究所 大塚 昭宏 事務局長

教文部長会に続いて、第1回教研推進委員会がおこなわれた。2018年度の経過報告の後、協議事項では第69次教育研究活動の推進について提起された。

その他、「第40回あすをひらく美術教育展」、「第26回『いのちの教育』手づくり教材・教具展」の募集要項、「ひょうご2019」子どもの詩と絵」第40集、「(一財)兵庫県学校厚生会が主催する「アートホール神戸写真公募展」子どもの世界」愛、「親から子へ 子から親へのハガキ大募集」の作品募集についても紹介された。

また、各地域組合での「開かれた教研」についてのとりくみや地域リポーターの確立について、5グループに分かれて意見交流された。

### 第69次教育研究活動の推進について

各地域組合・分会での教育研究活動(教研活動)の推進について

○保護者・地域の方々のリポート参加を呼びかけ、「地域の子育て」「地域の教育改革」等について分科会で交流が深められるようにとりくむ。

○職場を基盤とした分科会教研のとりくみの活性化をはかり、地域教研へと積み上げ、県教研で報告する体制を確立する。

○地域組合は、総会・教研推進委員会等で「研究所員」の目的および活動を周知徹底し、所属する研究所員を紹介し、その活用をはかる。

○教研推進委員会を開催し、具体的な計画を立案。実践の交流と研究協議を深め、県教研への参加者を決定する。

### 第69次県教研リポート提出者について

○地域教研で論議された研究内容、メイン・テーマにそった研究の成果をもちこみリポートを作成する。

○これまでの教研活動の成果の上に立ち、子どもの実態を深く見詰め、具体的な実践における子どもの姿・育ちが見える書き方を工夫する。

○『兵庫の教育第68集(第69次教研活動のてびき)』を熟読し、リポート作成に反映させる。

○子どもを中心にすえた方リキユラム編成など学校教育改革をすすめる、創造的な教研活動の推進をめざす。

○第69次県教研は、メインテーマを「いきる つながる みちひらく」自立

### と連帯・共生の学びと教育

○第2回教研推進委員会を9月17日に開催し、分科会の日程など最終的な打ち合わせをおこなう。

○司会者団会議を10月29日に、また司会者・共同研究者打ち合わせを県教研前日の11月8日に開催し、研究協議の運営等を決定する。

○教文部長会を県教研開催中におこない、諸連絡と打ち合わせをおこなう。

○県教研分科会終了後、全国教研リポート提出者打ち合わせ会を開催し、意思統一をはかる。

○リポーターは、全日程参加を原則とし、代理参加など、リポーター席を空けない体制を確立する。

○各地域組合から、複数人の保護者・地域の方々のリポート提出者の出席を要請する。

○地域リポーターへ、報告日の希望や報告時間帯、持ち時間等事前にお知らせするなど、最大限の配慮を心がける。

○分科会の討議の場では、お互いの立場を尊重した言動に留意するよう促す。

○第69次県教研の課題をふまえ、地域教研の集団討議を経たりリポートを選出する。

○リポーター、司会者、共同研究者が「全国教研リポーター選出の原則」にもとづき、話し合いで決定することを原則とする。安易な無記名投票に

### よる決定や立候補を募るような方法はとらない。

○第40回「あすをひらく美術教育展」

○第26回『いのちの教育』手づくり教材・教具展」

○『ひょうご2019』子どもの詩と絵」第40集

○「親から子へ 子から親へのハガキ大募集」

○「地域の教育コミュニケーション」を創出し、子どもとともに「共生社会」を実現するために、知恵を結集し、連携をはかり、真に子どもたちのゆたかな未来につながる子育てのネットワークを構築していく。

### 兵庫県民大学 第42期教育講座

教文部長会、教研推進委員会に引き続き、兵庫県民大学第42期教育講座 地域組合事務局代表者会議が開催された。

家庭の経済格差が教育格差を生み、子どもが安心して暮らすはずの家庭においても、子ども虐待や育児放棄といった子どもが被害者となる事象が増加している現状にある。

こういった状況の中、私たちは子どもたちに「ゆたかな学び」を保障するため、教育を社会の中心課題にすえて、社会的対話をすすめていく必要がある。その一翼を担うのが「兵庫県民大学」である。

「地域の教育コミュニケーション」を創出し、子どもとともに「共生社会」を実現するために、知恵を結集し、連携をはかり、真に子どもたちのゆたかな未来につながる子育てのネットワークを構築していく。

「地域の教育コミュニケーション」を創出し、子どもとともに「共生社会」を実現するために、知恵を結集し、連携をはかり、真に子どもたちのゆたかな未来につながる子育てのネットワークを構築していく。



兵庫教育文化研究所 40年のあゆみ



### あいさつ (要旨)

#### 教文部長会

#### 「19年のあゆみ」について

兵庫教育文化研究所は17年に40周年を迎え、記念誌として、「研究所 40年のあゆみ」を発刊し、教育研究活動の意義や歴史をまとめた第一部「教育研究活動を語り継ぐ」と、全国教研で「このリポートに学ぶ」としてとりあげられた実践を掲載した第二部「教育実践を語り継ぐ」を、研究所のこれまでのとりくみとしてまとめている。この「40年の歩み」を活用して、研究所が40年間積み上げてきたこれまでの教育研究や教育実践を、次の世代を担う青年層にしっかりと語り継ぎ、さらなる実践につなげていくため、日常的に教研活動や「組合活動の見える

化」運動をすすめていくことが重要である。

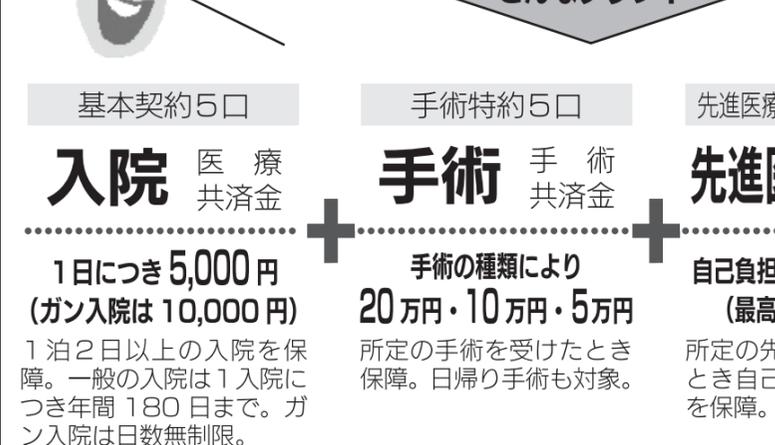
全国的に見ても、兵庫のように専従の事務局長・事務局次長・副所長の4人を配置し、現場の実践者である研究所員と、大学などの専門的な場での研究者である協力研究所員の参画を得て、各分科会における研究体制を構築し、組織的に実績を積み上げているところは他にあまり例がない。

目の前の子どもたちに豊かな学びを保障するため、日々、真摯にとりくまれていくことが、地域組合教研、県教研を経て、子供の姿が見えるリポートとして全国にも広がっていることは大変うれしいことである。

学校現場では、新学習指導要領が移行期間に入り、小学校では、高学年の外国語科、中学年の外国語活動が導入された。「特別の教科道徳」も中学校での検定教科書の使用が始まっている。

本部研究所は、このような情勢もふまえ、子どもの権利条約の理念にもとづき、子どもを中心にすえた創造的な教育研究活動を通して、生きる力につながる「ゆたかな学び」を実現する実践をさらにすすめていくようにとりくむ。

最後に本部研究所のこれまでのとりくみの意義を改めて確認いただき、保護者・地域も巻き込んだ教研活動の活性化にとりくもう。



19. 佐用

教職員共済の「医療共済」で、1日あたり5,000円程度の入院保障を用意しておきませんか？

たとえばこんなプラン！

基本契約5口	手術特約5口	先進医療特約 (口数なし)
<b>入院</b> 医療共済金	<b>手術</b> 手術共済金	<b>先進医療</b> 先進医療共済金
1日につき5,000円 (ガン入院は10,000円)	手術の種類により 20万円・10万円・5万円	自己負担した技術料相当額 (最高1,000万円)
1泊2日以上入院を保障。一般の入院は1入院につき年間180日まで。ガン入院は日数無制限。	所定の手術を受けたとき保障。日帰り手術も対象。	所定の先進医療を受けたとき自己負担した技術料を保障。

手術や先進医療にも備えてこの掛金！

40歳以下の場合 1,177円

41歳～60歳の場合 1,897円

★61歳以上も段階的に掛金が上がります。

あんしんむすぶ 教職員共済

資料請求はお問い合わせ

教職員共済生活協同組合 兵庫県事業所

〒650-0004 神戸市中央区中山手通4丁目10-8 ラッセホール4F

電話 (078) 221-9730 FAX (078) 221-1199

※この広告はトリプルガードの概要を説明したものです。ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書(契約概要・注意喚起情報)をご覧ください。 承 18-56-07 (1902)